

令和4年 厚生労働省科学研究費がん対策推進総合研究

がん研究に患者・市民参画を実現するための患者・市民に対する教育カリキュラム・プログラムの開発に関する研究班(22EA1001)

カリキュラム			研修企画者の手引き		
領域 (2語)	カリキュラム・コード	資質・能力(コンピテンシー)	「知識」 動画、書籍(推薦図書)、用語集などを用いて、自己学習ができる。	「実践」 対面研修による模擬的または事例検討等を通して、どう行かかを考えられる。研究者の支援を受けながら研究に参画することができる。	「上級」
参画	参画-1 興味	患者・市民参画のモチベーションを高める。	<ul style="list-style-type: none"> 患者・市民参画の様々な取り組みについての語りの動画を視聴する。 患者・市民の役割について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 患者・市民の視点の必要性や役割について議論できる。 	
	参画-2 参画チャレンジと意見交換	患者・市民の参画にチャレンジし、建設的な意見交換ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 患者・市民参画とは何か概説できる。 みんなが守ることを列挙できる。 (発言マナー、時間を守る、適切なメンバーに報告・相談を行う、研究内容の守秘など) コミュニケーション・スキルについて 	<ul style="list-style-type: none"> 会議体全員が取り組むこととして実践できる。 公益的役割を実践できる。 守る事柄を実践できる。 会議の検討課題を理解し、時間内に議論が終えるよう共働できる。 事前に資料を読み、意見を準備しておくことができる。 他者を尊重し、自らの意見をわかりやすく積極的に述べることができる。 	
がん	がん-1 腫瘍学	がん(腫瘍学)について、自らのペースで知識を深めていくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 自己学習が可能なレベルで取り組む。 <p>日本癌治療学会「大人のがん講座」 https://www.jSCO.or.jp/cancerseminar/</p>	<ul style="list-style-type: none"> がん研究に関連する腫瘍学や社会医学の特定の領域について講義を受講し、知識を説明できる。 <p>(講義例) がん予防と検診 癌腫別の講義 希少がんとは・高齢者とがん・AYA世代とがん ザバイパーシップ 医療とお金(医療の質と経済性の検討は社会的課題解決に重要であることの解説) 治療と仕事・学校の両立支援はなぜ大切?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍学やがんに関する社会医学のその時の最新または専門的な知見を得て、議論や提案に生かすことができる。 <p>(講義例) がんとゲノム 遺伝子異常とバイオマーカー 腫瘍免疫と免疫関連薬剤 放射線治療・粒子線治療の作用メカニズム プレシジョンメディスン ドラッグラグ・デバイスラグ</p>
	がん-2 社会医学	がんに関する社会医学について、自らのペースで知識を深めていくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 自己学習が可能なレベルで取り組む。 		
研究	研究-1 なぜ研究が必要なのか	なぜ研究が必要なのか? 研究という営みについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ研究が必要なのかを学び、がん研究の意義を理解する。 FINER(優れた研究テーマに必要な条件)について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> なぜ研究が必要なのかを踏まえ、社会の役に立っている様々な研究について理解する。 	
	研究-2 アウトラインと計画	研究を遂行するための研究構造(アウトライン)を理解し、研究計画がどのように立案されるのかを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 研究のアウトラインを理解できる。 PICO/PECOを理解できる。 研究計画書、研究倫理委員会審査、研究費獲得文書、文献レビューにでてくる用語を調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画書を踏まえて研究目的を抽出し、その研究のゴールについて議論できる。 研究チームの構成について説明できる。 模擬的な研究計画書を用いて議論ができる。 研究協力者と分担者の違い、謝金と必要経費の違いを理解する。 	
	研究-3 研究方法とデザイン	研究方法とデザインについて質問できる。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎研究、臨床研究(治験・臨床試験)、観察研究を理解する。 代表的な研究方法を理解する。 研究デザインの代表的なものを列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究論文や研究事例がどのような研究方法、デザインを用いているか、抽出し、疑問に感じたことを質問できる。 	
	研究-4 データ管理と公表	研究データ安全管理と研究成果の公表と活用について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 研究結果に関連する用語について調べ、結果を理解することができる。 研究で使ったデータをどう保管するのか(保管しなければならないか)を学び、安全管理という仕組みを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究は何等かの形で社会へ還元される必要があり、学会発表から論文化までの成果物の公表方法について学び、どのようなルールがあるのかを習得する。 模擬または実際にいずれかの方法を実践する。 (例 学会の患者支援プログラムでポスター発表する) 啓発時に留意すべき法規等を列挙できる。 	

統計	統計-1 統計用語	医療統計の言葉に触れる体験をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> 医療統計の言葉に触れる体験をしよう。(医療統計や疫学に関する用語を調べることができる) 	<ul style="list-style-type: none"> 医療統計を用いた箇所がどこか示すことができる。 医療統計を用いた文章の例を挙げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> データ解析や統計手法がどのように結果を導き出していくかを体験し、結果を理解することができる。 研究論文や行政報告書などにおいて、データ解析の手法や統計的な用語を理解し、結果や考察について議論できる。
EB	EB-1 科学的根拠 (EBM) とガイドライン	がん研究で得られた科学的根拠がガイドライン等を通してどのように意思決定に用いられるか知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> 科学的根拠(EBM)の用語の説明。 ガイドラインの目的、臨床疑問、推奨などの構造を知る。 臨床現場でのガイドライン活用例を知る。 	<p>研修例</p> <p>事例を用いて、</p> <ul style="list-style-type: none"> 推奨のレベルが決まってくるプロセスを体験する。 EBMが意思決定に用いられるプロセスを体験する。 意思決定や社会的決断にEBMが用いられた事例を通して議論する。 	
	EB-2 情報リテラシー	確かな情報を見分けよう。情報リテラシーの重要性を知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> 情報の確からしさを高める方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット (PC, スマホ等) や図書を用いた医療情報の検索を体験する。(PubMedなど) 	
EL	EL-1 がん医療の倫理	医療倫理・研究倫理、利益相反、個人情報保護について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 医療倫理・研究倫理・インフォーム・ド・コンセントの説明 (要点を列挙できる) 被検者 (臨床研究) や動物 (基礎研究) の保護、被検者の利益、不利益について説明 (要点を列挙できる) 医療安全や意見の衝突への対応が重要であることを概説できる。 利益相反、個人情報保護の基本的な事項について要点を列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> がん研究の過去事例、模擬事例を通して、どのように適応されているか、問題 (研究不正含む) にはどのようなことがあるか、列挙することができる。 基本的な事項を踏まえて議論できる。 	
	EL-2 がん医療の関連法規・制度	その時代の最新のものを学ぶ。がん対策基本法、薬機法、がん登録推進法、健康保険法 (診療報酬、保険適応内外)、介護保険法、臨床研究法、倫理指針、健康増進法、労働安全衛生法、公的医療保険制度、高額医療費制度、患者申出医療制度等	<ul style="list-style-type: none"> 法規や制度について、自分で調べる方法を述べることができる。 法規や制度について、策定に至った簡単な背景や要点を学び、要約できる。 	<ul style="list-style-type: none"> がん医療を取り巻く事例を通してどのように適応されているか例や問題点を挙げ、議論できる。 	